

■宮川香山 陶芸家。明治時代の日本を代表する陶工。高浮彫，真葛焼の創始者，海外ではMakuzu Kozanとして知られる。

みやがわこうざん
天保改革弾圧1842＝

京都の真葛ヶ原で，代々やきものを業とする陶工真葛宮川長造の四男に生まれる。幼名は虎之助。

阿部正弘首座1845＝ 3歳：

真葛ヶ原に窯を築いた名工の誉れ高い長造のもと，幼少の頃から骨董好きで，知らず知らずのうちに鑑定を覚え，日本や中国の陶器に詳しくなっていたという。

尊徳報徳論・1851＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝11歳：この頃から真葛ヶ原双林寺の画僧・義亮から絵を学び，

安政の大獄・1859＝17歳：この年，兄長平に，後の二代香山となる半之助が誕生。

桜田門外変・1860＝18歳：父と兄が相次いで死去し，家業を継ぐ。父が生前朝廷用の茶器を制作して“香山”の称号を受けていたことから，初代香山の名を名乗る。

その腕前が評判を呼び，薩摩藩家老小松帯刀から“苗代川焼の改良のため薩摩に来てほしい”と依頼されるほどであったが，小松の死により実現せせず。

薩長同盟・・・1866＝24歳：*幕府から御所献納の品を依頼されるほどになる。

明治維新・・・1868＝26歳：維新前後，備前虫明窯で指導に当たる。

戊辰戦争終・1869＝27歳：初の日刊新聞1870＝28歳：

薩摩の御用商人梅田半之助や伊集院から，横浜で輸出用の陶磁器を製造しないかと話を持ちかけられ，実業家鈴木保兵衛から資金提供も受けることになって，横浜に移住し，太田村不二山下1000坪の敷地に，陶磁器の製造所を設け，真葛焼を始める。陶土の確保に苦勞し，2年がかりで伊豆箱根をはじめ関東一円の山野を歩き，ついに伊豆天城で陶土に適した土を発見する一方，模様を金彩で描く代わりに身近な動植物を精緻な細工で表現する「高浮彫」と呼ばれる新しい技法を考案，さらに，細密な表現を身に着けるため庭に鷹や熊を飼うまでして，*フィラデルフィア万国博覧会に出品するや，銅牌を授与されるなど大きな成功を収め，その名が世界に知られる。その後，ほぼ毎年国内外の展覧会や万国博覧会に出品，

西南戦争・・・1877＝35歳：大久保暗殺・1878＝36歳：琉球処分・・・1879＝37歳：・・・1880＝38歳：

第七回京都博覧会一等褒賞，_パリ万国博覧会で金牌，_シドニー万国博覧会で特絶一等賞・一等賞・小銀牌，_メルボルン万国博覧会で一等賞状・三等褒状と，輝かしい受賞を重ね，真葛焼の人気は海外で急速に高まり，その多くが輸出されるようになる。

明治14年政変1881＝39歳：

_第二回内国勸業博覧会有功賞牌一等の「褐粕蜜貼付台付鉢」は，写実的な細工を用いた陶芸技法の粋を極めた作品で，のちに重要文化財にもなった。その後も，_アムステルダム万国博覧会銀牌，

岩倉具視没・1883＝41歳：

外国人の好みの変化に対応し，以後，作風を一転させ，さまざまな新色の粕薬，粕法の開発に成功，特に高い評価を得たのが「粕下彩」の磁器作品で，_蘭糸織物陶漆器共進会五等賞銀牌，

内閣発足・・・1885＝43歳：国民之友始・1887＝45歳：

初の対等条約1888＝46歳：

美術展覧会銅牌，_バルセロナ万国博覧会で銀牌，_帝国憲法発布1889＝47歳：美術展覧会銀牌・特別褒状，_パリ万国博覧会金牌，_第三回内国勸業博覧会二等妙技賞・三等賞銀牌有功賞，_大津事件・・・1891＝49歳：美術展覧会銀牌，_春季美術展覧会銀牌，_大本教・・・1892＝50歳：春季美術展覧会銀牌，_郡司千島探検1893＝51歳：春季美術展覧会二等賞銀牌，_絢下彩作品「黄粕鎔絵梅樹文大瓶」がシカゴ万国博覧会金牌になる(のち重要文化財)など受賞が続いて，

日清戦争始・1894＝52歳：

春季美術展覧会二等賞銀牌，富山市設博覧会金牌・銅牌・_

日清戦争終・1895＝53歳：

第四回内国勸業博覧会妙技二等賞・有功一等賞銅牌，春季美術展覧会二等賞銀牌，

白馬会・・・1896＝54歳：

春季美術展覧会一等賞金牌。*帝室技芸員を拜命。

八幡製鉄始・1897＝55歳：

春季美術展覧会二等賞銀牌，東京彫工会展二等賞，第十二回競技会銀賞牌・緑綬褒章授与，

子規句歌革新1898＝56歳：

春季美術展覧会二等賞銀牌，_ロイヤル・コペンハーゲン磁器製作所やエミール・ガレの工房にも影響を与えたことが，当時の海外紙で報じられている。

Bushidou・・・1899＝57歳：

春季美術展覧会二等賞銀牌，東京府主催一府九県連合共進会一等賞，

ビアノ国産化・1900＝58歳：

春季美術展覧会特別賞状，_パリ万国博覧会大賞，

田中正造直訴1901＝59歳：

第一回全国窯業品共進会協賛二等賞銀牌，美術展覧会一等賞金牌，

教科書疑獄・1902＝60歳：

第三十二回美術展覧会二等賞銀牌・協賛二等賞状，

日比谷公園・1903＝61歳：

美術展覧会一等賞金牌・二等賞銀牌・三等賞銅牌・褒疾三等，

日露戦争始・1904＝62歳：

美術展覧会一等賞金牌，_セントルイス万国博覧会最高賞，

日露戦争終・1905＝63歳：

美術展覧会三等賞銅牌・褒状一等・褒状二等，_リエージュ万国博覧会大賞，ポートランド博覧会金賞，

満鉄発足・・・1906＝64歳：

美術展覧会技芸金賞牌・技芸銀賞牌・銅賞牌・褒状一等・撫一等，凱旋記念五二共進会有功金牌，

韓国反日暴動1907＝65歳：

東京勸業博覧会記念名誉銀牌，

伊藤博文暗殺1909＝67歳：

美術展覧会技芸賞銅牌，

韓国併合・・・1910＝68歳：

日英博覧会名誉大賞，美術展覧会技芸賞金牌，群馬県主催一府十四県連合共進会一等賞，

大逆事件判決1911＝69歳：

第二回全国窯業品共進会名誉賞，美術展覧会一等賞金牌，

明治天皇没・1912＝70歳：

美術展覧会二等賞銀牌と，_内外で高い評価を享受し続けて，

大正政変・・・1913＝71歳：

美術展覧会二等賞銀牌と，_内外で高い評価を享受し続けて，

第一次大戦始1914＝72歳：

美術展覧会二等賞銀牌と，_内外で高い評価を享受し続けて，

第一次大戦始1916＝74歳：

*没した。遺作 琅?(ロウカン)釉蟹付花瓶。

初代宮川香山には男子は無く，宮川香山の名は養子の宮川半之助が2代目を継承した。真葛焼の作品は東京国立博物館・三の丸尚蔵館・泉屋博古館などにそれぞれ数点所蔵されているが，殖産興業の一環として輸出用に作られた作品が多いため日本国内に残っていた作品の数は限られていたが，1960年代後半から田邊哲人が真葛焼の研究を始めて海外から作品を精力的に買い戻しており，多くの作品が日本に里帰りしたことで明治期の陶芸の研究が急速に進み，たびたび美術系のテレビ番組や美術誌に取り上げられるまでになった。